

2024 年度研修コース案内

1. 概要

研修コース名	スキルアップ研修（レファレンスコース）
期間（回数）	全5回
曜日・時間	金曜 13:30～16:30（途中休憩含む） 【第1回】6月、【第2回】7月、【第3回】8・9月頃、【第4回】10月、【第5回】11月
募集定員	25名（最少催行人数5名）
担当者	高野 真理子（大学図書館支援機構）、外部講師（1～2回）

2. 詳細

目的	この研修プログラムでは、レファレンス業務に必要なツールの基礎知識と、利用者のニーズを的確に把握する技術の習得を目的とします。また、情報検索やオンラインレファレンス等の最近のツールの共同調査を行うことを通して、利用者により質の高いサービス提供をめざすレファレンス担当者間のコミュニケーションの場を提供します。
内容	レファレンスでは、多様な情報を引き出すためのツールを知る必要があります。毎回数件ずつ参考図書と情報検索で用いるデータベースの紹介を行い、その特徴を知って使いこなせるようにしましょう。最初は一般的なツールから始め、この講座の参加者ごとの専門分野を深掘りしていきます。 また、各回は下記のトピックを取り上げる予定です。 1. レファレンスは、「利用者」と求める「情報」を繋げる業務ですので、最初に学術情報流通と利用者のニーズを整理します。そして、「利用者」と「情報」を繋げる機能の変化、情報の信頼性と速報性や将来像についてディスカッションします。 2. データベースを用いた情報検索の基礎技術を専門家から伝授してもらいます。 3. 利用者とのコミュニケーションに必要なレファレンスインタビューの方法。模擬レファレンス面談を通して、利用者のニーズを的確に把握する質問テクニックを身につけましょう。 4. 情報の適切な利用に関する情報倫理の基本と、図書館における著作権法の適用について専門家に聞きます。 5. オンラインレファレンス技術の国内外の事例研究を参照します。AIによるレファレンスの可能性について議論してみましょう。また、研修報告大会での発表テーマを決めて全員で取り組みます。
実施形態	オンライン形式（検索実習・ロールプレイング・グループディスカッション含む）
研修報告大会	12月13日（金）午後開催（登壇者を研修内で募ります）

3. 受講条件

資格・経験等	上記内容に興味・関心がある方
環境等	Zoomによるオンラインミーティングが可能な環境 一般的なサーチエンジンやインターネットで公開されている情報検索（NDLサーチ、CiNii、リサーチナビ等）が実習できる環境

以上